



# 永福学園通信

令和6年3月25日

R5 第11号

東京都立永福学園  
校長 緒方 直彦



## 令和5年度を振り返って



春らしい日差しが感じられるようになってきました。卒業式では、卒業生が次の学部や特に高等部では、進学をはじめ地域社会での生活へ夢や希望をもって旅立とうとする姿が見られ感動いたしました。また、他の学年の児童・生徒も、修了式では、次の学年に進級する意欲が感じられました。永福学園の全児童・生徒が、来年度、次のステージで頑張ってもらいたいと願っています。

さて、令和5年度を振り返ると、本校敷地や校舎に関しては、スクールバスの駐車スペースがなく、児童・生徒の移動等における安全等が問題でしたが、夏季休業中の駐車場拡張工事により十分な駐車スペースが確保され、問題の改善に至りました。校舎の外壁塗装においては、長期間、足場を組んでの作業が続きましたが、工事による教育活動への影響もほとんどなく無事終了しました。工事期間、保護者の皆様や放課後デイサービスの関係者の方々には、御配慮・御協力いただきありがとうございました。また、教育活動においては、肢体不自由教育部門では、現行の学習指導要領の趣旨を生かした学習が展開されるよう、教科の指導を重視した教育課程の見直しを行いました。今後も授業改善を図り、充実した学習活動ができるよう努めてまいります。就業技術科では、東京都教育委員会の取組みであるオンライン学習デーを実施し、どのような状況下においても学びの継続が図られるよう、生徒だけでなく教職員のスキルアップを図りました。来年度から高等部においても全学年において一人1台端末を活用した授業が展開されます。引き続き、「令和の日本型学校教育」の具現化を図っていく所存です。さらに、防災関係では、年間全11回の避難訓練を肢体不自由教育部門、就業技術科、大塚ろう学校永福分教室の3つの部門合同で実施しました。実際に被災したことを想定したことで実りある訓練になるとともに、学校評価でも児童・生徒からあげられていた、「もっと他の教育部門や分教室のことを知りたい、交流したい。」という児童・生徒のニーズにも応えることができ、互いを尊重し支え合う学校づくりが一歩進んだように感じました。

しかし、学校全体としては、学校評価にも表れていたように、情報の発信等、児童・生徒や保護者のニーズに十分に答えられていないことも残っています。引き続き、改善に努めるとともに、良い面やうまくいっていることを更に伸ばす取り組みを行うことで、永福学園の特色化・魅力化を図って参ります。保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様におかれましては、来年度につきましても本校の取組みに御理解・御協力いただければ幸いです。1年間、本当にありがとうございました。

校長 緒方 直彦



# One School!! One Team!! 2023



## One Team 自慢

### 【肢体不自由教育部門】

肢体不自由教育部門と就業技術科の児童・生徒たちは、ひとつの校舎で毎日学びを深めている中で、互いの存在を意識し、共に学ぼうとし始めています。EIFUKU ギャラリーを活用した交流学习、就業技術科福祉コースの生徒が肢体不自由教育部門の児童に絵本の読み聞かせをする学習、肢体不自由教育部門高等部の生徒が両部門で給食時に使用するストローを袋詰めする作業学習など、互いの学習が互いの成果につなげることができました。

児童・生徒たちの学習を支える教員も「One Team」の意識が高まりました。学習教科に関する話し合いや緊急時の対応訓練など両部門の教員が合同で会議や研修を行い、学校運営に関する企画・検討や指導に関する情報共有を通してスキルアップを図っています。

また、今年度より両部門の授業参観週間の中で、「One School 参観 Day」を実施いたしました。保護者の皆様にも部門の分け隔てなく授業参観をしていただいたことで、授業の内容や児童・生徒の様子などの理解が深まったと思います。参観後には「互いの授業内容を初めて知ることができました。」「就業技術科のコーヒーを飲めませんか。」などあたたかい御感想が届きました。

来年度も今年度の活動に自信をもって、更なる「One Team!!」で取り組んでいきます。

主幹教諭 池田 佳信

### 【就業技術科】

今年度の永福学園は、肢体不自由教育部門のスロープを「EIFUKU ギャラリー」とし両部門と大塚ろう学校永福分教室の児童・生徒の作品を展示したり、合同で避難訓練を行ったりと、併置の特別支援学校の利点を生かした取組を大切にしてきました。

学習活動では、肢体不自由教育部門で音楽会や儀式のある際に、シート敷きや椅子並べを就業技術科の「職業に関する専門教科」ビルクリーニングコースの生徒が設営を行ったり、福祉コースの絵本の読み聞かせの練習に、肢体不自由教育部門の児童が参加したりと、互いに支え合う機会が多くありました。

また、普段は共に学習する機会が無くとも、子供たちが互いを意識しながら過ごしていることにも気付かされます。例えば、給食を食べているとき、永福学園ではカップゼリーや芋ようかんがよく提供されることについて、生徒たちが話している場面に遭遇しました。一人の生徒が「肢体不自由教育部門のみんなが食べやすいようになったって」と説明すると、自然と肢体不自由教育部門の話題になり、永福ギャラリーの作品の感想にまで発展していました。学校というひとつの社会を通して、確かに「One Team!!」の芽が芽生えていることを実感しました。次年度は、その芽をさらに大きく育てていきたいと思えます。

主幹教諭 三浦 千尋

### ★編集後記★

来年度のスタートには、両部門高等部合同の入学式を実施します。また、保護者控室も共有になります。両部門の児童・生徒だけでなく、教員も保護者も永福学園という社会の中で、「共に生きる」ことの素晴らしさを分かち合える令和6年度になることを楽しみにしております。

主幹教諭 池田 佳信

### 東京都立永福学園

副校長 秋本 友美 山崎 裕之 安田 泉  
主幹教諭 池田 佳信 池田 奈央子

〒168-0064

東京都杉並区永福1丁目7番28号

電話 03-3323-1380 FAX 03-3323-1381

<https://www.eifuku-sh.metro.ed.jp/>